



号外
埼玉県(第1区版)
2009年11月30日発行

民主党力入民主編集部
東京都千代田区永田町1-11-1
TEL03-3505-9988(代表)

民主党埼玉県連広報局
さいたま市浦和区高砂3-6-16
Tel 048-833-3500
Fax 048-833-3503
URL http://minshu.org
E-mail info@minshu.org

2009年・秋号

民主党埼玉県第1区総支部
衆議院議員 たけまさ公一事務所
浦和事務所
さいたま市浦和区北浦和 3-6-11
松本ビル 2F
TEL048-832-3810 FAX048-832-3846
岩槻事務所
さいたま市岩槻区本町 5-5-12
TEL048-749-6801 FAX048-749-6802
国会事務所
東京都千代田区永田町 2-1-2
衆議院第2議員会館 312号室
TEL03-3508-7062 FAX03-3519-7715

「国民主権」の政治で マニフェストの「公約実行」を！

【甲東北アフリカ外交】

中東和平に積極関与！

経済外交で日本経済再生

8月の衆院選で16万3973票を得て4回目の当選を果たした武正公一議員は、「公約実行」を掲げる鳩山内閣で外務副大臣に就任。

9月16日の初閣議では「国民主権」の政治を貫くことを内閣の基本方針として決定しました。

武正議員は外務省で北米、中南米、中東、中国のほか、安全保障、経済分野、文化交流と予算を担当しています。このため、10月31日から11月5日にかけて、モロッコで開催された拡大中東・北アフリカ(BMEN A)構想「未来のためのフォーラム」第6回閣僚級会合に出席しました。

同会合はBMENA地域

と日米など先進8カ国(G

8)の各閣僚(ワリントン米
国務長官ら)のほか、国際
機関の代表らも参加し、同
地域への支援策などについ
て協議するのが目的です。

日本を代表して出席した
武正議員から、BMENA
地域への支援継続 国連気
候変動枠組み条約への日本
の取り組み 中東和平プロ
セスの二国間(イスラエルと
パレスチナ)和平交渉への支
持 国際通貨基金(IMF)
への10兆円融資枠の設定
ソマリア沖海賊対策への日
本の役割 などについて
説明。

日本とアラブ諸国の貿易
や技術開発協力などを促
すため、12月に東京で開催
する「日本・アラブ経済フォ
ーラム」への参加も呼びかけ

ました。

また、武正議員はモロッコ
をはじめ、チュニジアや英国
スイス、湾岸協力会議(GC
C)諸国の閣僚等と会談し、
中東和平やイランの核問題
日本とGCCの自由貿易協
定(FTA)などについて意見
を交換しました。

一方、国内では世界貿易
機関(WTO)の多角的貿易
交渉(ドーハラウンド)や、
経済連携協定(EPA)に関
係する外務、財務、経済産
業、農林水産の各大臣の委
員会が11月6日にスタート。
他省庁の副大臣とともに、
武正議員も参加しました。

外務省にも「EPA・WTO
推進本部」(本部長・岡田克
也外相)が設置されており
武正議員は今後も経済外
交に積極的に取り組んでい
きます。

【政府税制調査会】

消費税には「でこぼこ」を！

法人税は雇用とセットで

武正議員は外務省代表

として政府税制調査会（会

長・藤井裕久財務相）で、平

成22年度税制改正の議論

にも参加しています。税制

は「くにかたち」に大きな

影響を及ぼすだけに、初当

選以来「公平公正・簡素」を

旨とし「安易な増税は慎重

に」と主張しています。

法人税のあり方について

は10月22日の第3回税調

で「最近の開業率より廃業

率が上回っている」と指摘し

「（企業の）雇用吸収という

視点も当然必要になってく

る」と述べ、雇用問題とリン

クして検討するべきとの意

向を示しました。

地方税を中心に議論した

第4回税調（同27日）では、

全国知事会の関係者に対し

民主党が5月に参議院へ提

出した「公会計関連3法案」

を例に挙げ、財務状況を分

かりやすく示す仕組みの必

要性を提案。

さらに残高が200兆円

にも膨む地方債については

ASEAN（東南アジア諸国

連合）+3（日中韓）が提唱

するアジア債券市場の育成

（ABMI）を活用すること

を提案しました。

一方、同29日の第5回税

調では、消費税をめぐる議

論について「税率を一律に上

げるのか、（日用品は非課

税にするなど）でこぼこを

付けるのか」と提起。さらに

「私は、でこぼこがあった方

が良いと思う」としたうえ

で「イギリスでは教育の書

籍にかなり低い税率をかけ

ている」と紹介し、海外の事

情なども参考にするよう

求めました。今後、年末に

かけて予算編成とともに、

税制改正についてはムダ遣

いを徹底的に削ることを前

提として、積極的に発言し

ていきます。

【行政刷新会議】

事業仕分けでムダ排除！

447事業を総点検

政府の行政刷新会議（議

長・鳩山由紀夫首相）によ

る「事業仕分け」が11月11

日よりスタート。平成22

年度の予算編成に向けて

各省の概算要求の中から

無駄を洗い出し、95兆円

の概算要求を3兆円以上

圧縮するのが目標です。2

20件447事業を仕分け

し、各事業を「廃止」「民間

委託」「地方移管」などに振

り分けます。

埼玉県第1区 （岩槻区・浦和区・緑区・見沼区） 選出地方議員の紹介



浅野目 義英（県議・浦和区）
昭和33年生まれ 民主党・無所属の会
警察危機管理防災委員会、公社事業対策
特別委員会各委員 党埼玉県連副幹事長



神崎 功（市議・緑区）
昭和30年生まれ
民主党・無所属の会さいたま市議団団長
市民生活委員会委員、党埼玉県連副代表



高野 秀樹（市議・岩槻区）
昭和35年生まれ
民主党・無所属の会さいたま市議団
文教委員会委員長、予算委員会委員

衆議院議員たけまさ公一プロフィール

たけまさ公一ホームページ <http://www.takemasa.org>

県立浦和高校、慶応義塾大学法学部政治学科卒業

松下政経塾（第5期生） 埼玉県議会議員2期

衆議院議員4期（外務委員会委員）

外務副大臣

党埼玉県連 幹事長



原田 健太（市議・浦和区）
昭和42年生まれ
民主党・無所属の会さいたま市議団
まちづくり委員会委員



三神 尊志（市議・見沼区）
昭和55年生まれ
民主党・無所属の会さいたま市議団
市民生活委員会委員